



進路決定に向けて考えをまとめよう

教育相談が始まりました。これまで、体験入学や個々に調べたことなどから、いつばい考えたことと思います。4月の頃より自分が進みたい道は見えてきたでしょうか。

教育相談をぜひ不安を解消する機会として活用してください。さて、これから進路を決めるにあたって考えてほしいことが3点あります。

① 学科を決める

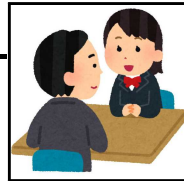
大学進学を前提としている場合や高校卒業後の進路が漠然としている場合は、普通科を選択する人が多いです。

一方、高校卒業後に就職を考えている人は専門学科を選択する人が多いです。(専門学科の大学もあり、卒業後は就職、とならない人も多いです。)

② 受検日の異なる高校を組み合わせる

「公立1+私立1(2)」
「国立+公立+私立1(2)」
「私立1(専願)」
「公立1(単願)」 ※私立はA

専門学科を知ってください



専門学科(商業・家庭・農業・工業・看護・水産・福祉の7つの学科)について詳しい資料が文部科学省から配信されましたので、廊下に掲示しました。

専門学科卒業後は就職という印象をもたれる方もいますが、大学

③ 受検方法を決める

一般受検か推薦受検か
一般受検は、筆記試験+面接という形が多いです。(高校によつて異なります。)

推薦受検は、面接のみで可否を決めます。

志望の動機が明確で、なおかつその学科に対する適性や学習意欲が高いことが重要です。

適性とは、高校側からこんな生徒に来てほしいという内容が出されています。(裏面参照)

以上のことが定まったら、あとは自分の学力を向上させていくのみです。頑張りましょう。

編集後記

公立高校の場合、よく合格ボーダーラインといって、「〇〇高校は△ランク以上必要」というものが受検雑誌などに掲載されます。しかしこれはあくまで予想なのでご注意ください。

しかし、私立高校の場合は記載通りです。「一般受検は△ランク」とあれば、それくらいの学力が必要です。(以前配布しました実業高校や藤星高校の募集要項に記載があります。)

特に旭川実業高校はより具体的に記載するようになりました。奨学生受検(進路通信第3号参照)も一般受検も、どれくらいの学力があれば進学後、高校の勉強を理解できるか受検前にわかるのは安心材料になりますね。

や専門学校への進学と就職の割合は同じくらいです。

ご家庭でもご覧いただけるよう、QRコードを載せますので興味のある方はぜひご覧ください。

